



**2021年3月23日
北海道富良野市**

1. 地域IoT実装計画策定の背景と目的

1.1 計画策定の背景と目的

富良野市は人口減少、少子高齢化が進行しており、年少人口の減少による子育てや教育環境の変化、生産年齢人口の減少による担い手や労働力不足、高齢者人口の増加による医療・介護・住まい・公共交通・生活支援などが課題となっておりまいます。

また、国がめざすべき未来社会の姿として提唱しているSociety5.0の到来は、社会の至るところで新たな価値が生み出され、医療・交通・教育・農業・公共サービスなどの幅広い産業構造の変革や、人々の働き方が変化するといわれており、地域課題の解決に向けて新たなデジタル技術をどう活用していくかが重要な課題となっておりまいます。

このようななか富良野市では、ICTの導入を希望・検討しているものの、十分な知見やノウハウを有しておらず取り組みが進んでいないため、総務省の「地域IoT実装のための計画策定・推進体制構築支援事業」に応募し採択を受けました。

今後は、今回の計画策定を初手として、実証から実装につなげ、ICTの恩恵を市民誰もが享受できるデジタル社会をめざしていくことを目的とします。

1. 地域IoT実装計画策定の背景と目的

1.2 本計画の位置づけ

2020年度に策定しました第6次富良野市総合計画は、「4つのWA」と「2つの基本アプローチ」が示されております。総合計画で位置づけられている「デジタル」は、持続可能なまちづくりに向けた重点施策であり、今回の地域IoT実装計画は、総合計画の実現に向けた基本アプローチの一つとして位置づけられます。



1.3 本計画の対象期間

本計画の対象期間は、2021年～2024年の4年間とします。ただし、実施期間、実施内容は、毎年度の実施状況・効果等を踏まえ、計画期間の延長、実施内容の見直しを行うものとします。

2. 富良野市の地域特性

2.1 地理的条件

北海道の中心に位置する富良野市は、北海道の『へそ』といわれ、毎年7月には「北海へそ祭り」が開催されます。市域は東西32.8km、南北27.3km、総面積600.71km²で、東方に十勝岳連峰の富良野岳、西方に夕張山地の芦別岳がそびえ、南方には東京大学北海道演習林があり、市域の約7割を山林が占める自然豊かな環境にあります。



- 人口 21,064人 (R3.2末)
- 面積 600.71km²
- 語源 富良野は、アイヌ語の「フーラヌイ」からきていて「臭くにおう泥土」を意味する。活火山である十勝岳から流れ出る川の水が硫黄臭く、この一帯が泥炭(でいたん)地帯であったことからきている。



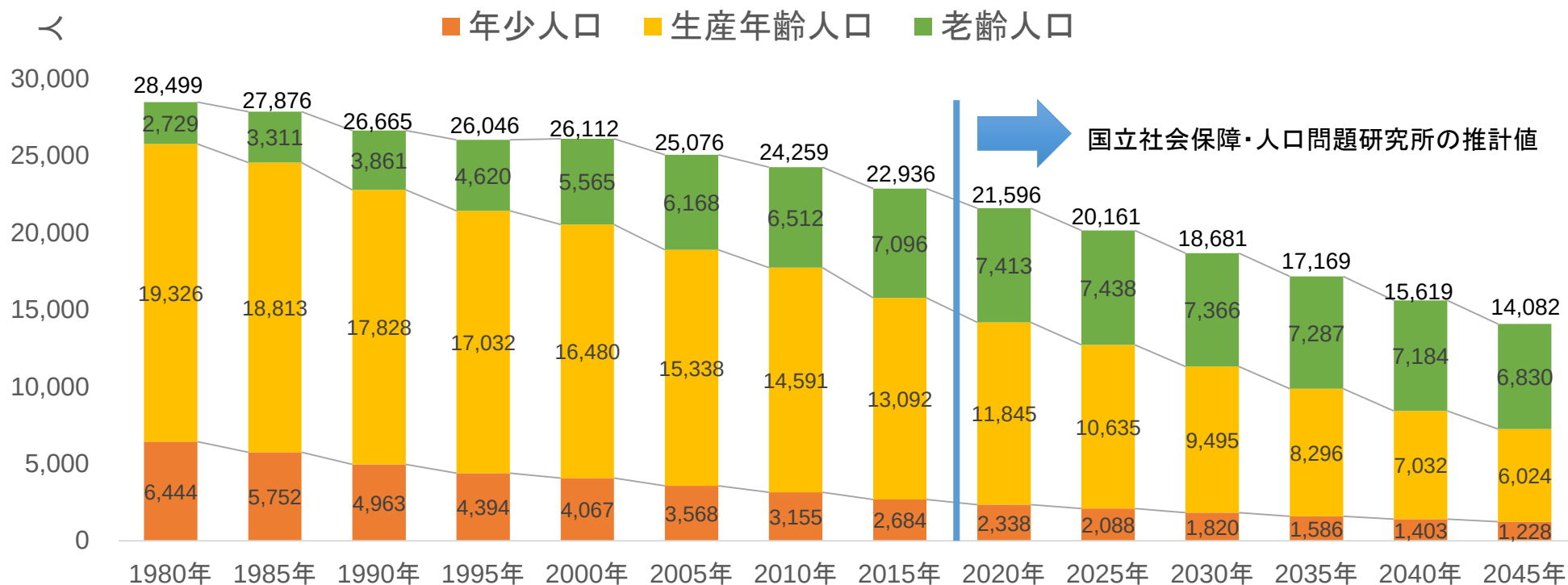
毎年7月に開催れる「北海へそ祭り」

札幌から車で約2時間10分(三笠経由約130km)
旭川から車で約1時間20分(約60km)

2. 富良野市の地域特性

2.2 人口動態

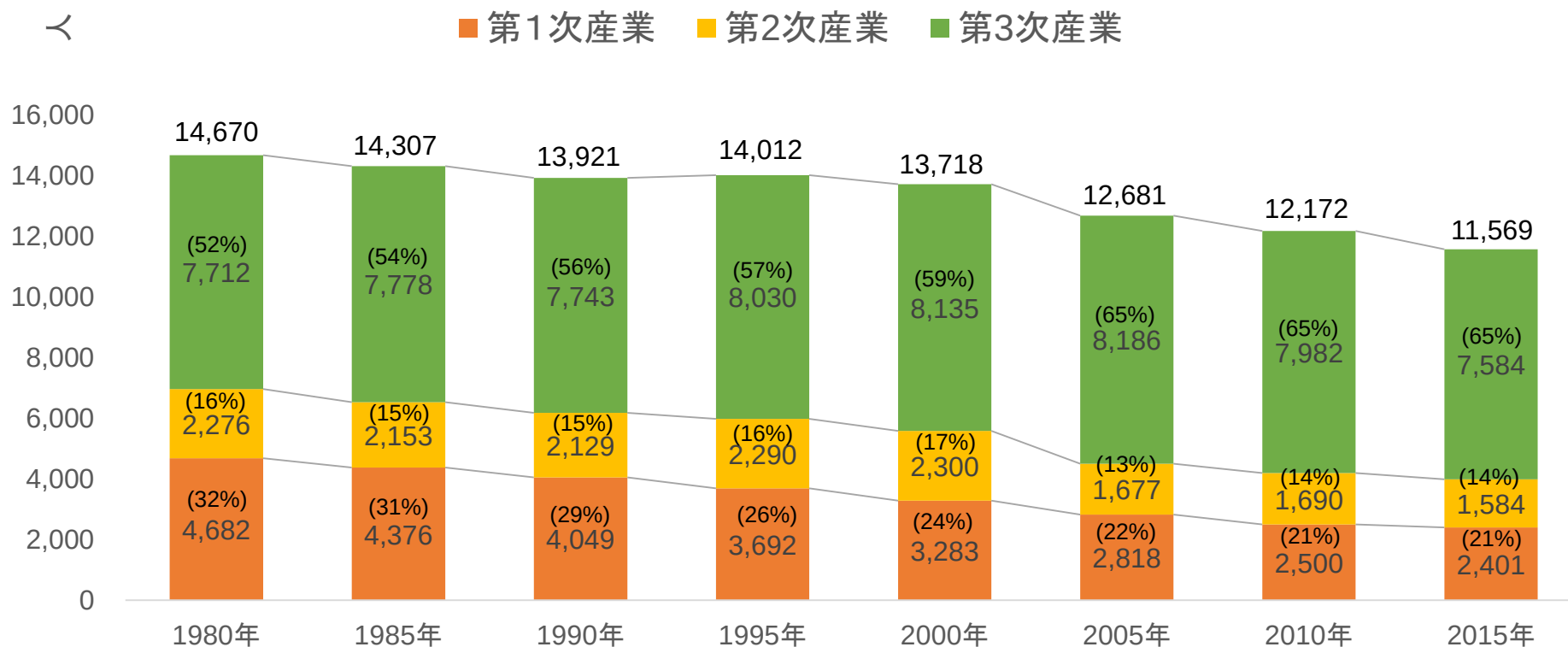
国勢調査による1980年の富良野市の人口は28,499人であり、2015年には22,936人まで減少し人口減少・少子高齢化が進んでいます。国立保障・人口問題研究所の推計値では、2045年には、年少人口・生産年齢人口ともに2015年の半分となり、人手不足が深刻化し各分野で人材の確保が困難になることが想定されます。



2. 富良野市の地域特性

2.3 産業構造

富良野市の産業構造は、農業を取り巻く環境の変化、担い手の高齢化などにより基幹産業である農業をはじめ、第1次産業就業者数の減少が著しくなっておりますが、観光関連を中心として第3次産業の割合は増加しています。



2. 富良野市の地域特性

2.4 農業と観光と環境のまち

野菜生産額全道第1位



年間190万人以上が訪れる観光都市



テレビドラマ「北の国から」



新富良野プリンスホテル



ニングルテラス



フラノマルシェ

ごみのリサイクル率90%を誇る環境都市

燃やさない・埋めないを基本理念として市民が14種別にごみを分別

①プラスチック類 1 水ですいで 2 十分に水切りしてから 3 専用袋に入れて排出してください。 このマークの付いている「キャンプ類」も対象	②固形燃料ごみ 紙くず、紙製容器、木製品、衣類、布類、革製品、アルミ缶、たばこの吸い殻、ちり、わたくす、ゴム製品、 ② マークのついていないプラスチック用品など	③ペットボトル ① キャンプをほすする このマークがついているペットボトルが対象 ② ラベルをはがして ③ 瓶の中を空にして
④生ごみ 生ごみの水分が多いときや袋が破れる恐れのあるときは、新聞紙で包んで出してください。 生ごみ袋は、製造年月から半年以内に使用してください。長期保管は袋が破れやすくなります。 十分に水切りしてから	⑤空き缶 飲料用缶や缶詰、オイル缶・塗料缶などでスチール缶・アルミ缶が対象 ⑤ 空き缶 ⑥ 金属 スプレー缶は…必ず中身を使い切ってから排出 ⑦ 新聞雑誌・ダンボール類 種類ごとにひとむで縛って、排出（新聞紙専用袋も使用可）	⑧空きびん・陶磁器・ガラス 透明びん 茶色びん 乳白色の化粧品のびん 色別にびんポストへ ⑨ 乾電池・蛍光灯 乾電池・体温計は ⑩ 衛生用品 紙おむつ、生理用品、ペット用トイレの砂やシートが対象
⑦新聞雑誌・ダンボール類 種類ごとにひとむで縛って、排出（新聞紙専用袋も使用可）	⑧空きびん・陶磁器・ガラス 透明びん 茶色びん 乳白色の化粧品のびん 色別にびんポストへ ⑨ 乾電池・蛍光灯 乾電池・体温計は ⑩ 衛生用品 紙おむつ、生理用品、ペット用トイレの砂やシートが対象	⑪灰 無色透明で印刷されていない袋 ⑫動物死体 市役所に相談してください ☎39-2308
⑬大型ごみ・電気製品 大型ごみ・電気製品および小型電気製品は、市役所または支所にお申し込みください。 月1回の収集指定日に至るまでに排出してください。 大型ごみ 電気製品 小型電気製品 テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンは大型ごみ・電気製品として排出できません 小型電気製品は、専用袋で排出（有料）	⑭市が回収しないごみ 廃家電（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン） 買い換える際に販売店に依頼するか、回収業者へ依頼 富良野地区清掃事業協同組合 ☎23-3939 家庭用パソコン パソコンメーカーに回収を依頼 メーカーがわからないときはパソコン3R推進センター ☎03-5282-7655 引越などで一時的に出る多量のごみ 富良野地区清掃事業協同組合 ☎23-3939	危険ごみ 未使用の花火・マッチ、使用済みライターは市役所または支所の窓口へ 在宅医療ごみ 掛かりつけの医療機関へ 事業所ごみ 事業所から出るごみは分別して、許可業者に依頼するか、自ら処理施設に搬入 処理困難物 お買い求めになったお店にご相談下さい。 オートバイ 消防車 フロンポンプ パンツリ タイヤ スプリングマットレス ピアノ 電機や金属が入った多量の容器 農薬・殺虫剤など化学製品

ごみに関するお問合せは
富良野市 環境課 環境係へ
 お気軽にお電話ください ☎39-2308

地域ブランド研究所による「全国市区町村魅力度ランキング2020」で第9位

3. 地域IoT実装により目指す将来像

富良野市ICT利活用
推進計画基本理念

ひと・モノ・情報がつながるスマートシティ富良野

～ICTの恩恵を市民誰もが享受できるデジタル社会をめざして～

ICTの利活用による行政事務
の効率化

ICTの利活用による市民の
利便性向上

オープンデータの活用推進と情報
セキュリティ対策

健幸都市

スマートウェルネスシティ

健康寿命の延伸に向けて、
市民が主体的に健康づくりに
取り組むことができるまちづくり

地域交通

スマートモビリティシティ

多少の不便を感じながらも、マイカーに頼れない交通弱者が住み続けたいと思うまちづくり

3. 地域IoT実装により目指す将来像

富良野市全域

IoTを活用することで、市民の健康の見える化や健康づくりに対するインセンティブが働き、すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らし、幸せが実感できるまちづくりを目指します。



3. 地域IoT実装により目指す将来像

富良野市街地

IoTを活用することで、マイカーに頼れない交通弱者の足を確保するとともに、スキー場のある北の峰地区と中心市街地を自動運転による交通を可能とし、中心市街地を歩いて楽しく暮らせるコンパクトシティを目指します。



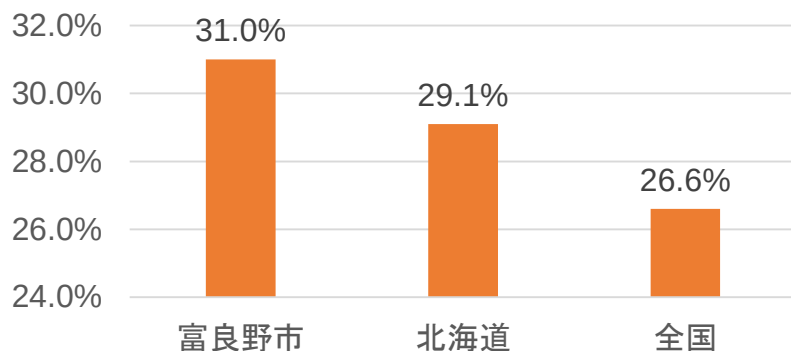
健幸都市(スマートウェルネスシティ)



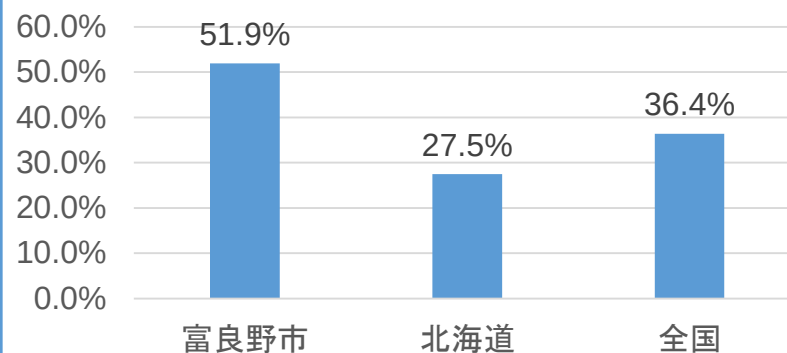
健康寿命の延伸に向けて、市民が主体的に健康づくりに取り組むことができるまちづくり

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(1)

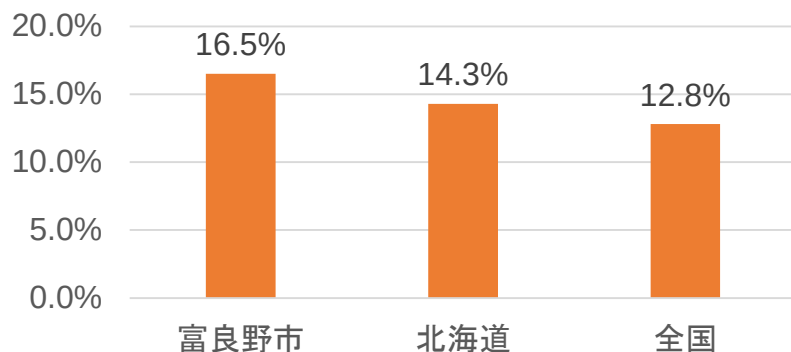
65歳以上の高齢化率(H27国調)



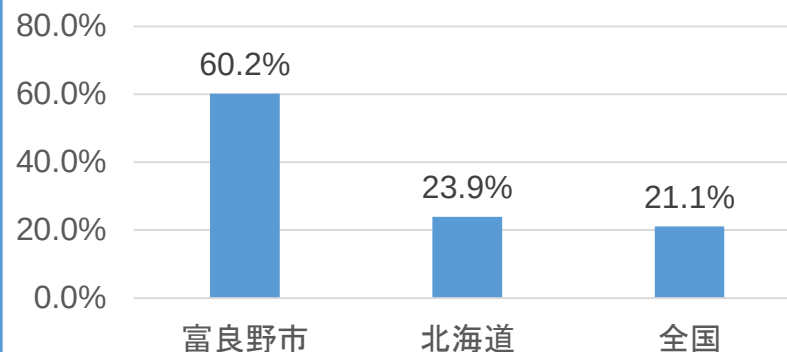
特定健診受診率(H28)



75歳以上の後期高齢化率(H27国調)



特定保健指導実施率(H28)

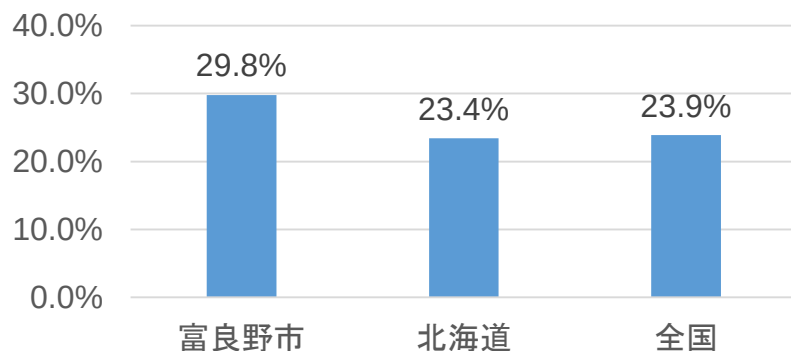


高齢化率、及び後期高齢化率は北海道、全国より高くなっている。

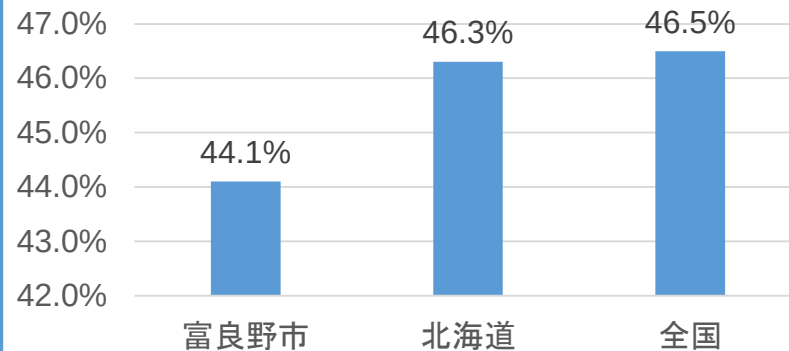
特定健診受診率、特定保健指導実施率は北海道、全国より高くなっている。

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(2)

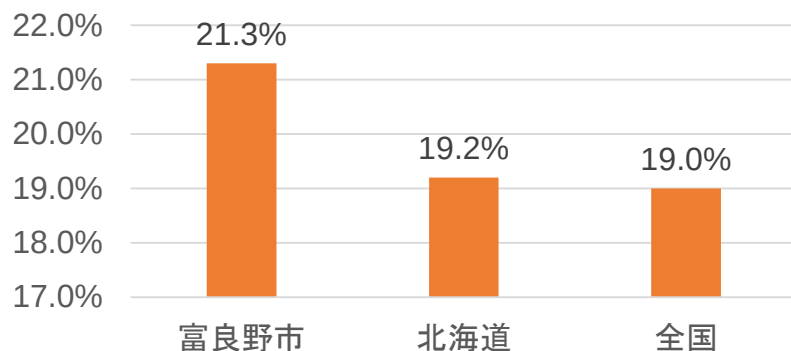
20～64歳男性運動習慣者の割合(H28)



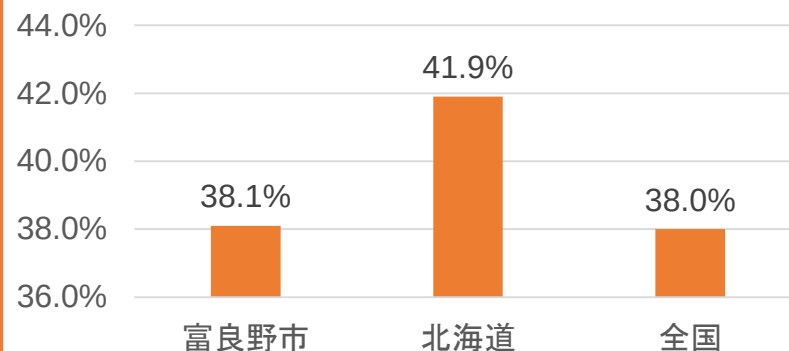
65歳以上男性運動習慣者の割合(H28)



20～64歳女性運動習慣者の割合(H28)



65歳以上女性運動習慣者の割合(H28)

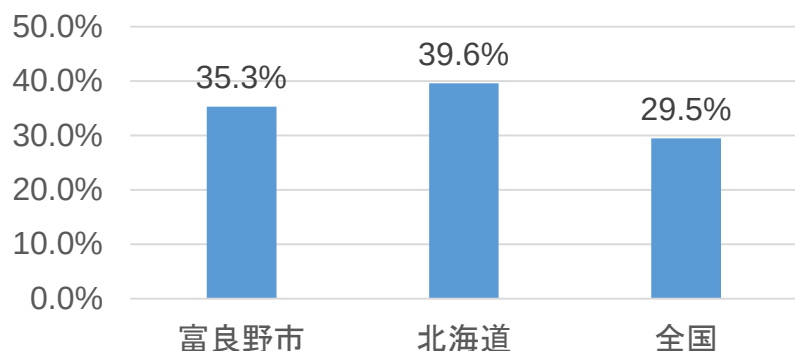


20～64歳までの運動習慣者の割合は、男性女性とも北海道・全国平均を上回っている

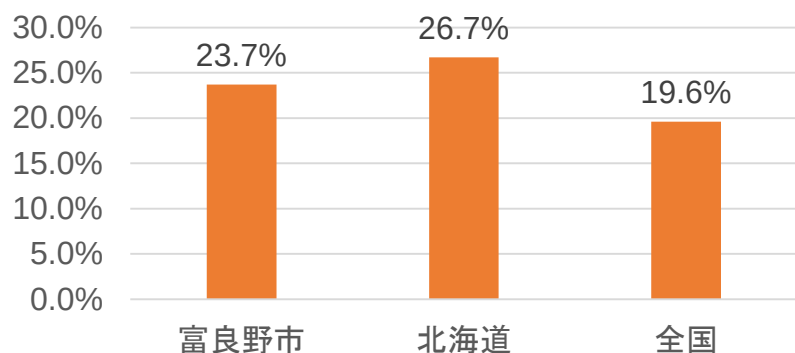
65歳以上の運動習慣者の割合は、男性女性とも北海道平均を下回っている

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(3)

20~60歳代男性肥満者の割合(H28)

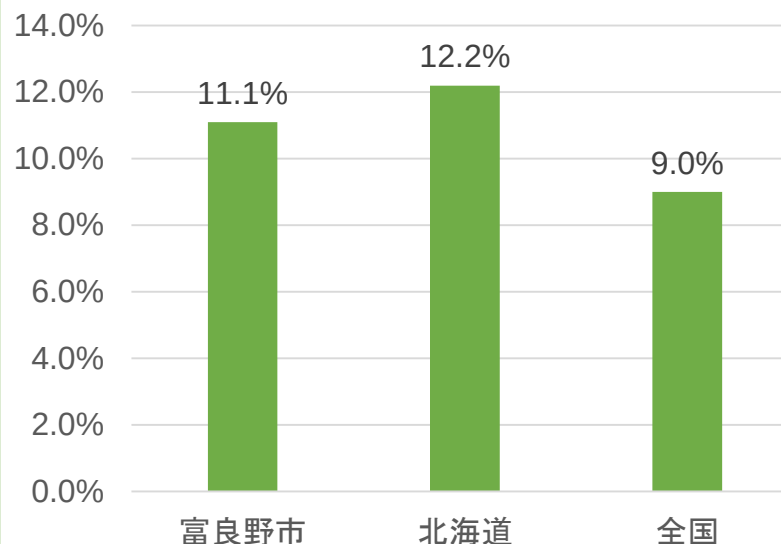


40~60歳代女性肥満者の割合(H28)



肥満者の割合は、成人男性・女性とも北海道平均より下回っているが、全国平均より上回っている

小学5年生の肥満傾向にある子どもの割合(H28)



小学5年生の肥満傾向にある子ども割合は、北海道平均より低いですが、全国平均より高くなっている。子どもの肥満の約3分の2は、そのまま大人の肥満に移行し、若い年齢でメタボリックシンドロームになりやすい。

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(4)

楽しみながら健康づくり！

ふらの健康
マイレージ

●保健医療課 ☎39-2200

—健康マイレージ事業—

市民の主体的な健康づくりを促すとともに、健康診断やがん検診などを受診し、市で実施する健康づくり講演会・健康イベントなどに参加して集めたポイントを特典と交換することで健康づくりへの関心を高めてもらう取り組みです。

参加登録申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

ポイント付与は、保健医療課窓口のポイントカードを持
参し、対象事業に応じてスタンプを押印しますので、健診
(検診)を受けたことがわかる書類や献血カードなどを
持参してください。提出期限は令和3年3月31日

- ①ふらの市内共通商品券 500 円分
②がん検診助成券 500 円分

200 ポイントめざす方は、200 ポイント達成後特典 1,000 円分をまとめてもらうことができるほか、100 ポイント毎に特典 500 円分ずつもらうこともできます。がん検診助成券は、令和 2 ～ 3 年度の期間中、集団のがん検診で使用することができます。

参加申込、ポイント登録は紙中心

参加申込(紙)									
No. ()			申込日: 年 月 日						
参加者 氏名			参加者氏名(ふりがな)						
学年/科			年 級 年 月 日 組						
性 別			男 / 女						
連絡事項の連絡			□保護 □連絡先 □休養期間 □退席 □その他						
□退席			退席理由						
申込者名									
連絡先(ポイント)			連絡先住所 〒 市 区 町 丁目 番 号 番 号 電話番号: 市内 外線						
申込理由			希望する授業: □ 希望する授業: □ 希望する授業: □ 希望する授業: □ 希望する授業: □ 希望する授業: □						
申込者名、希望する授業は必ず記入し、希望する授業は記入してください。									

対象事業

初めて特定健診を受けた方はポイントを2倍に、
特定健診を3年連続で受けた方には10ポイント加算します。

健康診断 ・ がん検診 ・ 献血	20ポイント	特定健診、後期高齢者健診、若年者健診、協会けんぽ等域の健康診断、個人受診の人間ドック、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診	(実施期間) 4/1～3/31	
		市で実施する歯周病検診（今年度 40.50.60.70 歳になる方）	6/1～3/31	
		献血（献血カードを提示し、1回の献血につき 20 ポイント）	4/1～3/31	
各種検診	10ポイント	市で実施する エキノコックス症検診、肝炎ウイルス検診、ピロリ菌検査	7/3～6 7/9～12 11/6～9 11/19～22	
保健指導	10ポイント	健診事後保健指導（結果説明会含む）	6/1～3/31	
		30ポイント	積極的支援（1回につき30ポイント）	6/1～3/31
		20ポイント	動機づけ支援（1回につき20ポイント）	6/1～3/31
特定保健指導	10ポイント	市民を対象にした医療講演会、健康づくり研修会 救急の日講演会への参加	9/1～3/31	
		出前講座（保健医療関係）、依頼の健康教育と健康相談	4/1～3/31	
健康講座 健康相談 出前講座	5ポイント	ふまねつと教室（ふまねつとふらのの会主催分）への参加 （1回につき5ポイント）	7/1～3/31	
ウォーキング チャレンジ	1～3ポイント	1日 3,000歩＝1ポイント（1日最大3ポイント） ①歩数の確認は、スマホや万歩計で行います。 ②歩数とポイントを記録する用紙を参加登録申込時に交付します。 ③ウォーキングチャレンジの参加前後で、保健センターに設置している「計測コーナー」の体成分分析器で体重・体脂肪率・筋肉量等を測定するほか、握力・血圧も測定し、参加者の身体の変化を確認します。	7/1～3/31	
ヘルスケア チャレンジ	10ポイント	個人でウォーキング以外の健康づくりの目標と取り組み内容を設定し、その取り組みにポイントを付与します。取り組み期間は、原則1か月以上とし、1か月ごとに10ポイントとします。取り組み人は、「ヘルスケアチャレンジ記録用紙」に記入してください。	7/1～3/31	

今年度からウォーキングの歩数をポイント化して健康づくりを応援します。個人で健康づくりの目標と取り組み内容を設定し、達成状況に合わせてポイントを加算します。

「ウォーキングチャレンジ」と「ヘルスケアチャレンジ」は、専用の記録用紙を使用してください。特典応募のときに記録用紙の提出をお願いします。記録票の様式は、市ホームページからもダウンロードできます。



4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(5)

☆☆テーマ☆☆ いつのまにか健康になれるまちづくり

目指す将来像

健幸都市

健康寿命の
延伸に向けて
市民が主体的に健康づくりに取り組むことができる
まちづくり

問題
【行政目線】

自発的に健康づくりに取り組む住民が限られる

要素の検討
(対象者)

0～19歳

20～64歳

※スマホ保有率
2019.12月
60代78.0%

65～74歳

75歳以上

健康を維持するための行動はライフステージ健康を維持するための行動はライフステージに応じた取り組みとなる。
健康寿命の延伸に向けて最も重要な年代であり、スマホやパソコンの保有率が高い20～74歳までを対象として検討する。

課題
【市民目線】

意識

健康づくりに関心がない

健康づくりで何をすればよいのかわからない

健康づくりに取り組むきっかけがない

健康づくりに取り組んでも継続できない

健診・医療を受診するのみで生活習慣を変えない

環境

健診の申込み方法が限定されている

健康づくりに取り組む時間を確保できない

食生活の改善を妨げる環境要因

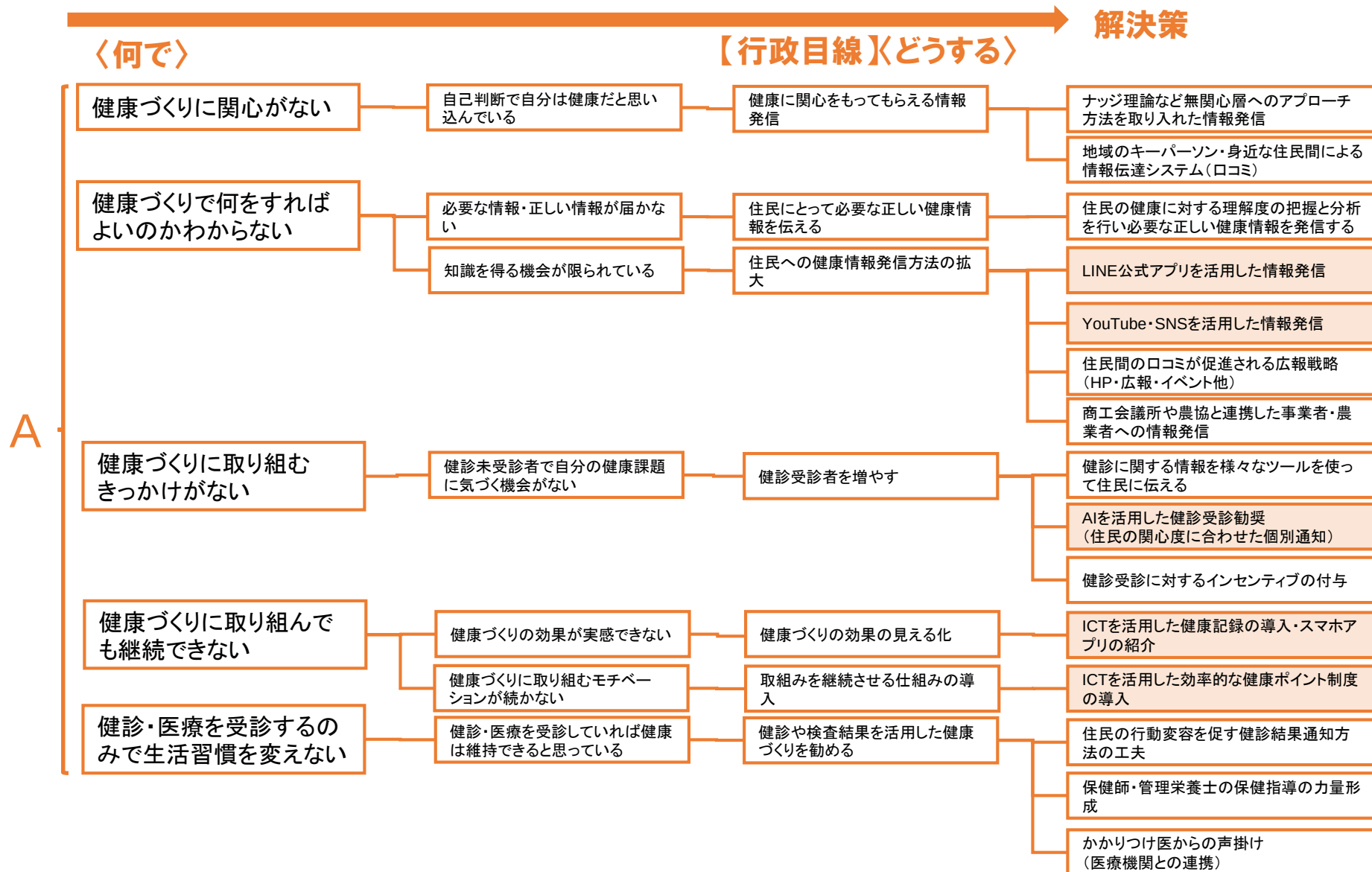
運動習慣の改善を妨げる環境要因

〈何で〉

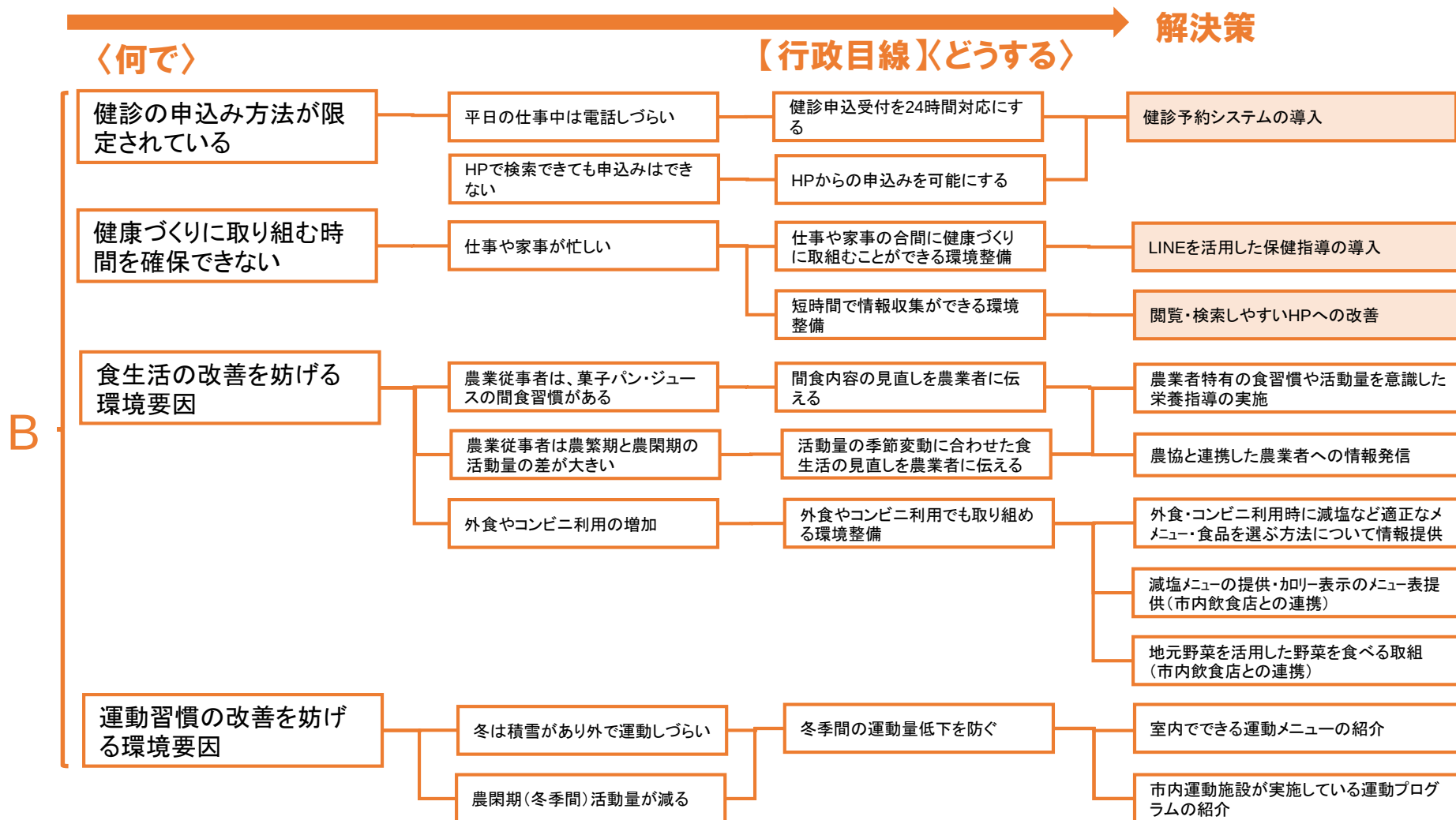
A

B

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(6)



4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(7)



5. 将来像の実現に向け取り組む施策

施策の概要	事業の概要
健康づくりに向けて必要で正しい情報をSNSを通して配信する。	①LINEによる情報配信 ②市ホームページのリニューアル
市民が継続して健康づくりに取り組むために健康の見える化を図る。	①健康ヘルスケア・ポイント制度システムの導入 ②健診予約システムの導入

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(1) 事業内容

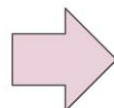
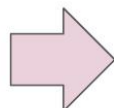
① LINEによる情報配信

LINE公式アカウントを取得し、健康づくり、健康マイレージ、検診情報などを配信する。



反応キーワード

健康、ヘルス、マイレージ
病院、医院、医療、医者、検診、歯医者
診療、クリニック、歯科、耳鼻科、外科、
小児科、皮膚科、内科、消化器



市ホーム
ページも
リニュー
アル

②

③



6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(1)－2事業内容

①健康ヘルスケア・ポイント制度システの導入

健康状況や健康増進活動進捗の見える化を図るとともに、紙による申込、ポイントを登録を行っている「ふらの健康マイレージ事業」をスマホからの登録に移行する。

PHR機能



日々の運動・活動を支援。



毎日の活動をパッと見て
分かるグラフで確認。

お知らせ配信



アプリからのお知らせを表示。
健康に関するアドバイスや、
自治体等からの情報を周知。

チャレンジ機能



運動・健康活動をサポートする
様々なチャレンジを用意。



チャレンジ達成でポイント獲得。
ウォーキング等の習慣化をサポート。

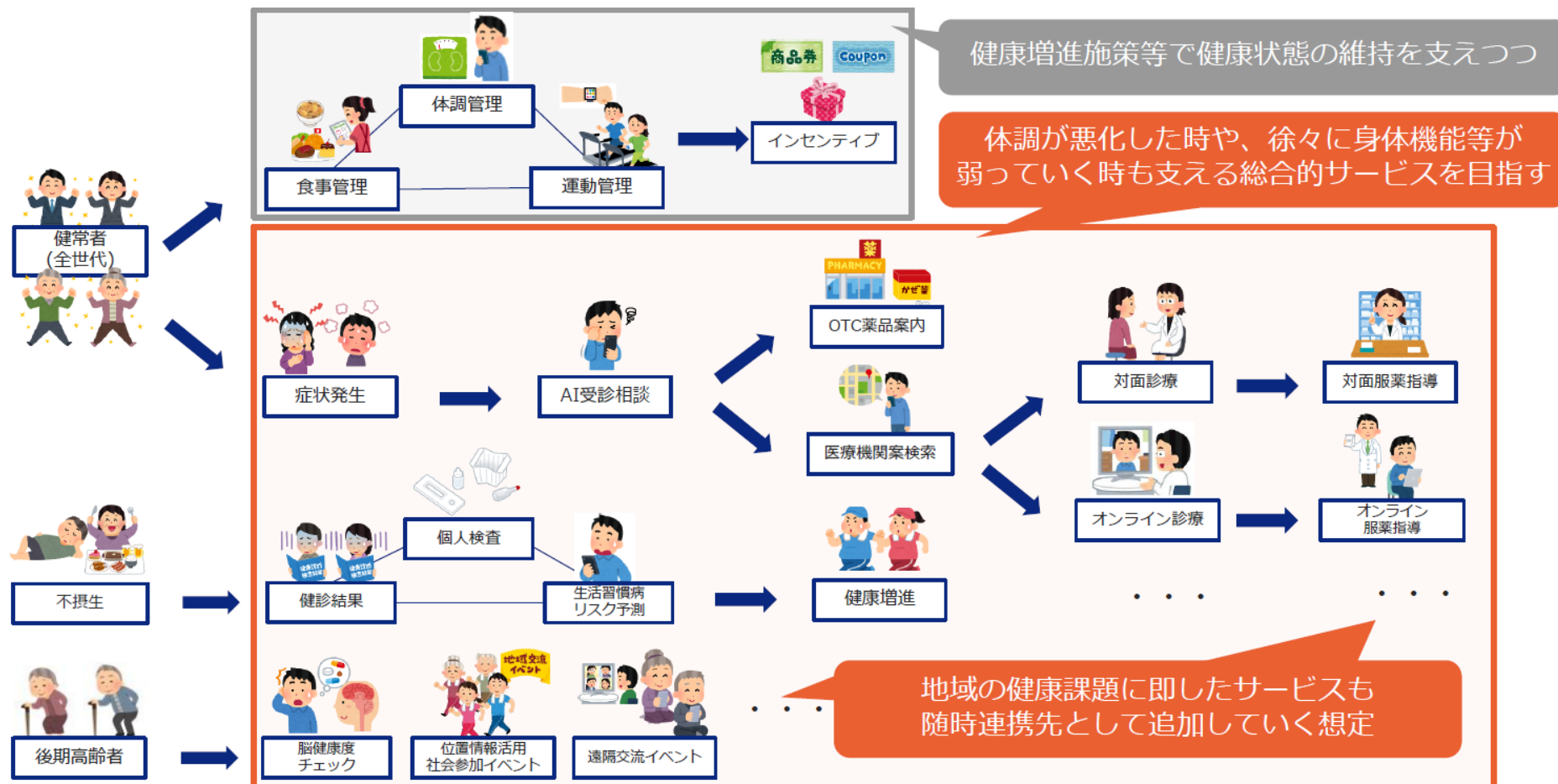
生活習慣病リスク予測



健康診断結果から、
自身のリスクが分かり、
生活改善の意識変容を促進。
健康活動のモチベーションに

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(1)ー3システム導入によるイメージ



6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(2) 推進体制



(3) 資金計画(単位:千円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ホームページ更新	7,820	700	700	700
LINE情報配信	200	200	200	200
健康ポイント制度		1,500	200	200
健診予約システム			未定	未定

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(4) 実施スケジュール

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
市ホームページ更新				
LINEによる情報配信				
健康ヘルスケア・ポイント制度システム導入				
健診予約システム導入				

7. 成果の評価指標及びPDCAの体制

7.1 KPI及び目標値の設定

解決策 (施策・事業)	アウトプット (結果)	アウトカム (成果・変化)
LINE公式アカウント	お友だち登録数	情報へのアクセス数
健康ポイント制度	登録数	ポイント達成者数
健診予約システム	健診申込数	健診受診率

7.2 PDCAの体制

Plan(計画)	Do(実行)	Check(評価)	Action(改善)
保健医療課・スマートシティ戦略室が中心となってベンダーとともに計画策定	各課・各関係機関が連携してシステムの導入・運用に向けた周知活動	利用者アンケート、及びアウトプット、アウトカムの成果の分析	成果の分析結果を踏まえて、実効性がある施策への改善を実施

地域交通(スマートモビリティシティ)

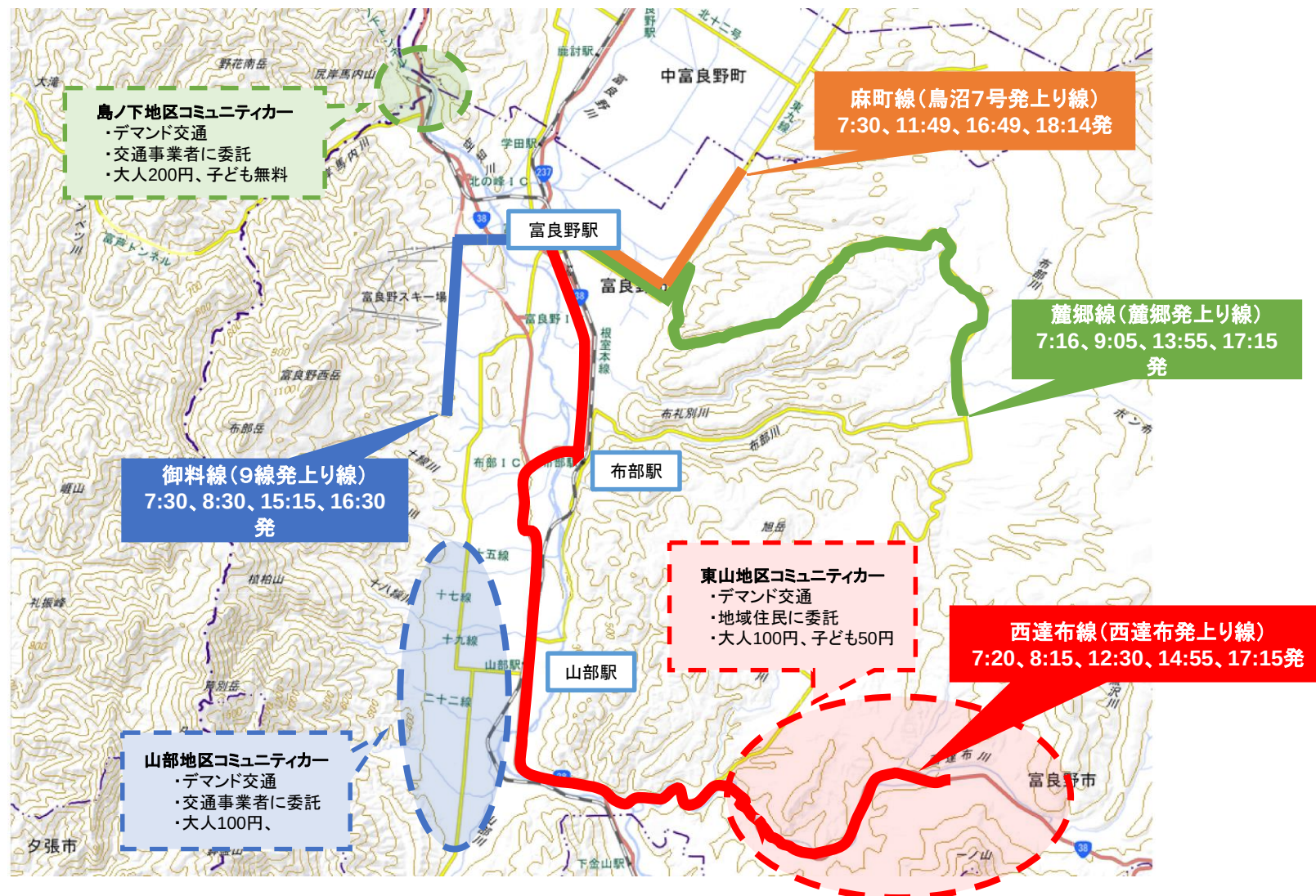


多少の不便を感じながらも、マイカーに頼れない交通弱者が住み続けたいと思うまちづくり

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(1)

地域交通の現況(市内全域の路線バスと地域コミュニティー)

市内路線バスは4便、1日4〜5往復の運航

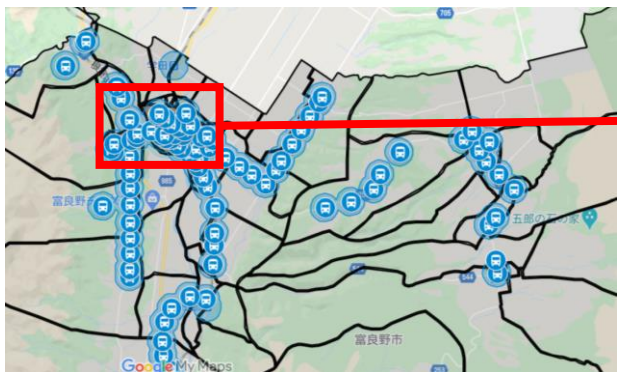


4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(2)

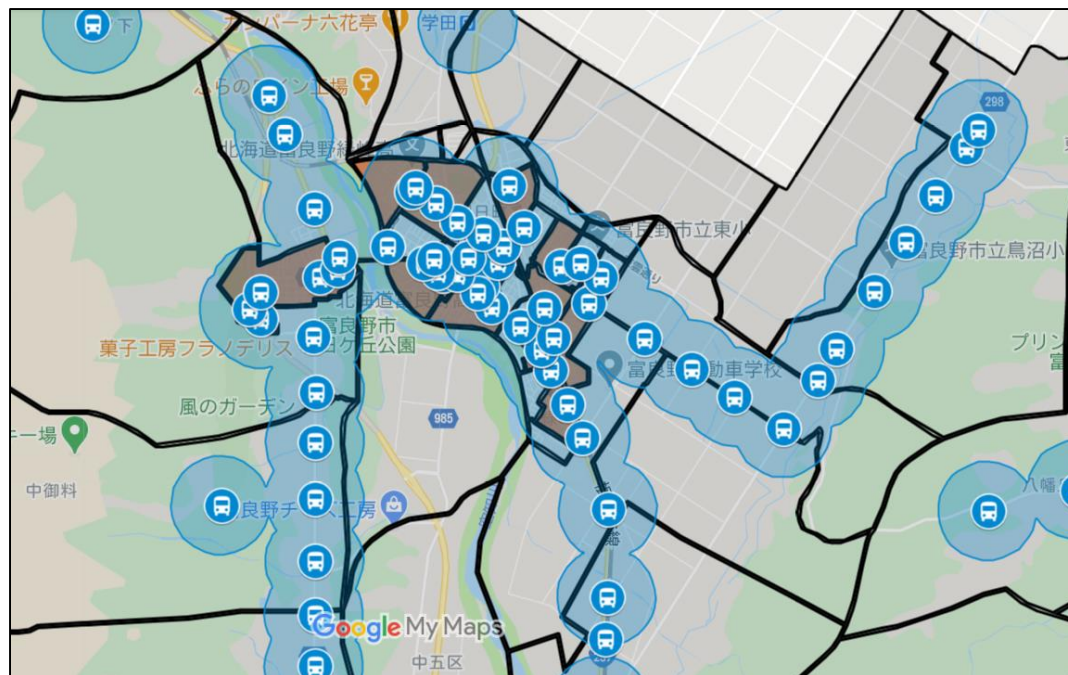
地域交通の現況(富良野市街地の路線バス、及びJR路線)



市街地においては路線バスの空間的空白はあまりないと考えられる。



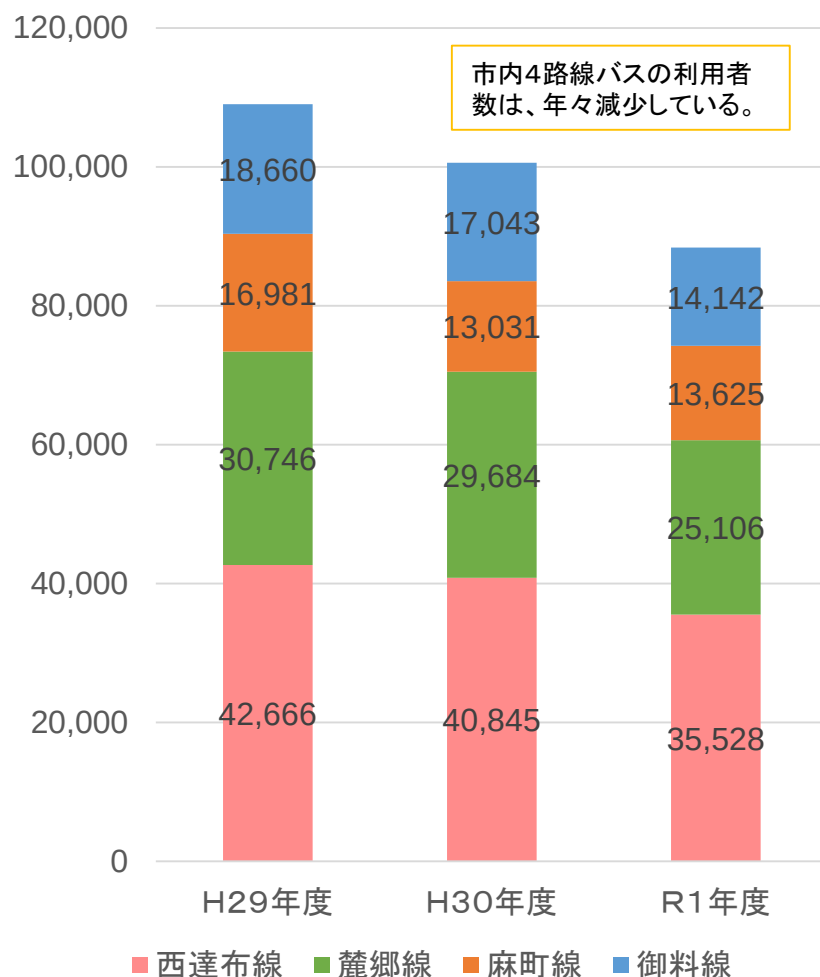
バス停を中心に半径500m
(徒歩圏内)をブルーの同心
円で表示。
つまり青以外の部分が交通
空白地域。



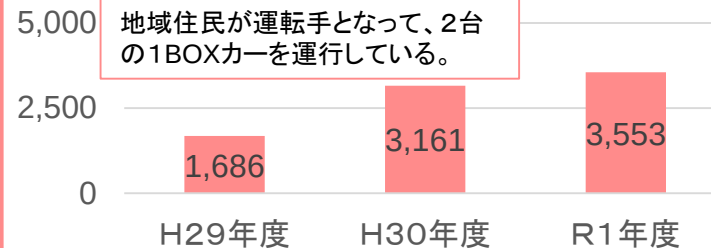
4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(4)

地域交通の現況（路線バスと地域コミュニティカーの利用状況）

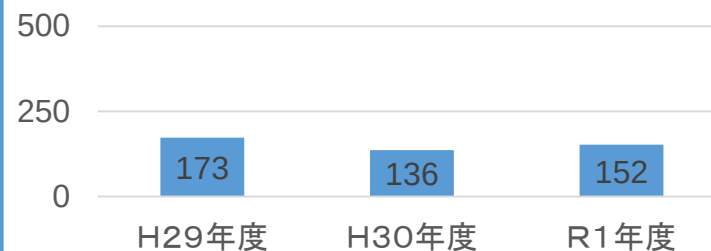
路線バスの利用者数の推移



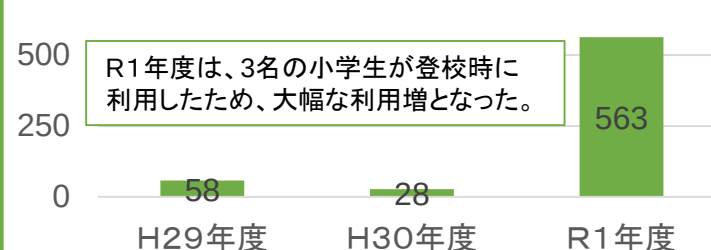
東山地区コミュニティカー利用者数の推移



山部地区コミュニティカー利用者数の推移



島ノ下地区コミュニティカー利用者数の推移



4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(5)

富良野市からの路線バス維持のためにバス会社への補助金、
及び地域コミュニティ運行委託料の推移

路線バス	H29年度	H30年度	R1年度
西達布線・麓郷線維持費補助金	10,037,000円	12,430,000円	15,106,000円
麻町線・御料線維持費補助金	8,513,000円	9,907,000円	10,299,000円
計	18,550,000円	22,337,000円	25,405,000円

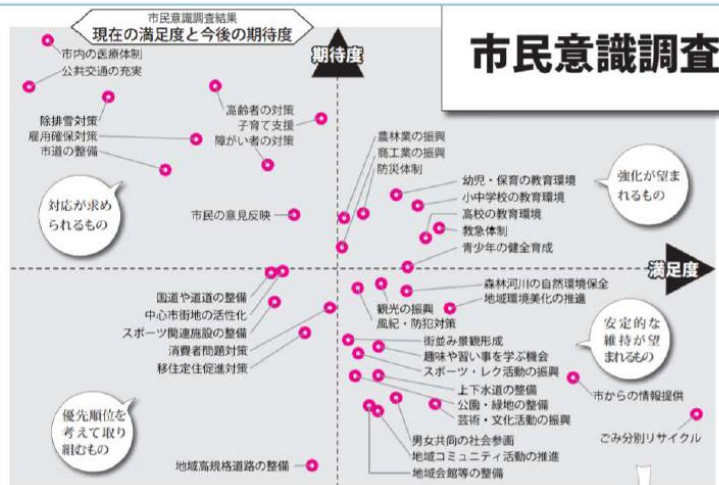
地域コミュニティカー	H29年度	H30年度	R1年度
東山地区コミュニティカー運行委託料	3,673,000円	3,578,000円	4,457,000円
山部地区コミュニティカー運行委託料	654,360円	525,620円	538,232円
島ノ下地区コミュニティカー運行委託料	107,140円	51,160円	420,670円
計	4,434,500円	4,154,780円	5,415,902円

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(6)

富良野市民の声として、
公共交通機関の現状の満足が低い一方、充実への期待は高い。

【市民の声】

満足度低い×期待度高い：「医療体制」「公共交通機関の充実」「除排雪対策」
「市道の整備」「雇用確保対策」「高齢者の対策」「市民の意見反映」など



10年前と比べて、期待度と満足度が大きく変わった施策

期待度が高くなった施策

1位	高規格道路の整備
2位	公共交通機関の充実
3位	市内の医療体制
4位	防災体制
5位	国道や道道の整備

満足度が大きくなった施策

1位	雇用確保対策
2位	中心市街地の活性化
3位	青少年の健全育成
4位	農林業の振興
5位	幼児・保育の教育環境

満足度が小さくなった施策

1位	市内の医療体制
2位	公共交通機関の充実
3位	除排雪などの雪対策
4位	市道の整備
5位	国道や道道の整備

※参考資料：市民意識調査 ※広報3月号掲載（2020）

Furano city & Furano Design & All Rights Reserved.

30年後の未来像（複数回答）

55%

車がなくても
不便しない生活環境

- 1位 車を持たなくても生活に不便を感じない生活環境が整っている。 55%
- 2位 多様で魅力的な農業経営がなされ、後継者や新規就農者が増えている。 47%
- 3位 安心して子育てできる環境が整い、地域で子どもを大事に育てている。 46%
- 4位 雇用機会が十分あり、暮らしに困らない程度の所得が得られている。 43%
- 5位 大都會的な便利さではなく、富良野市独自の良さにより豊かに暮らしている。 41%

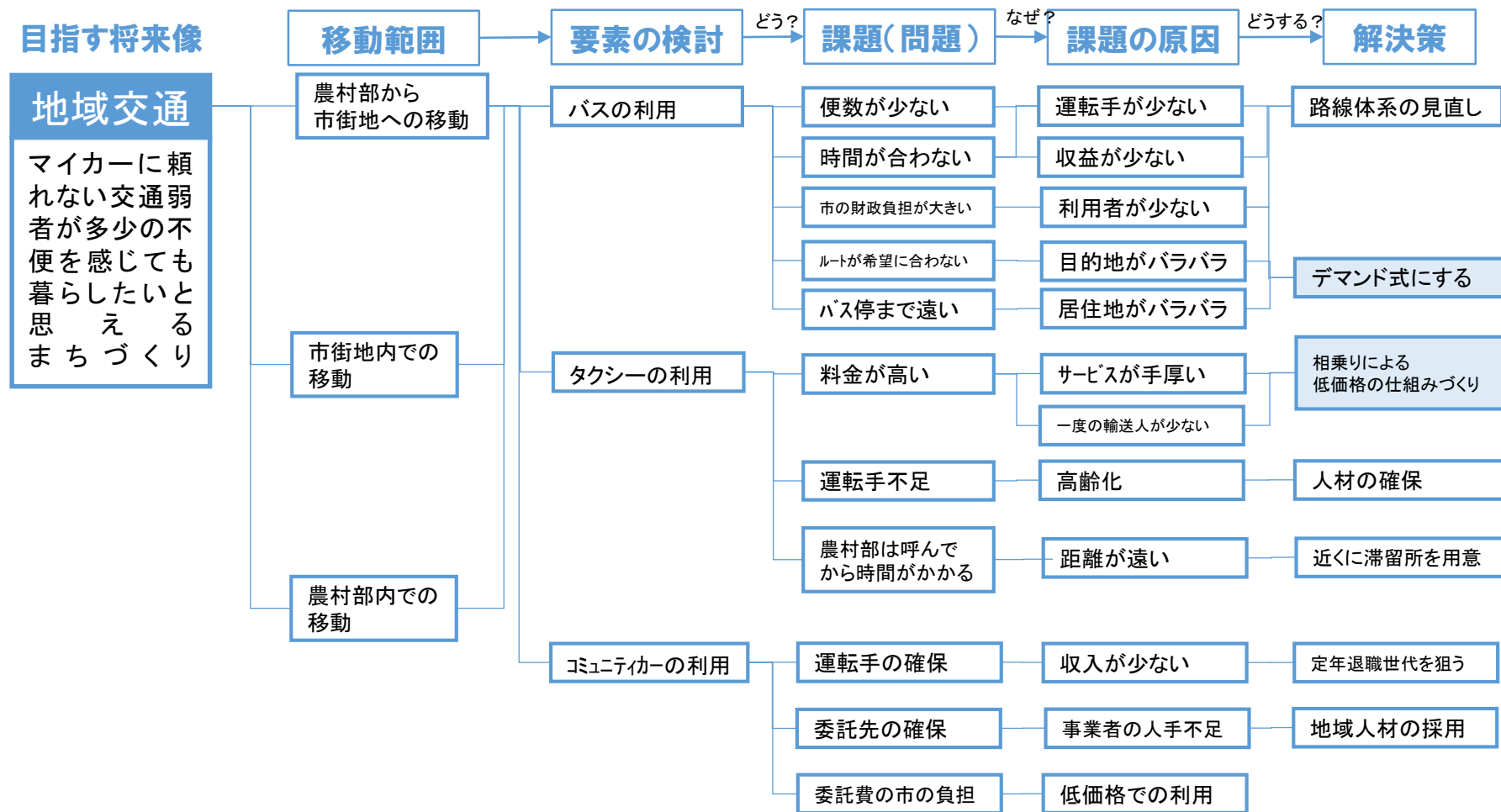
（平成28年度）



乗用自動車（普通＋軽）

1世帯に1.2台

4. 将来像の実現に向け解くべき問題・課題(7)



本年11月27日施行の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正に基づき、富良野市の鉄道、バス、コミュニティーなどの持続可能な交通体系の構築に向けて、来年度から「**地域公共交通計画**」を策定することとした。

5. 将来像の実現に向け取り組む施策

AIオンデマンド交通の実証実験

- 利用者が乗りたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド交通システムを導入。
- リアルタイムに発生する乗降リクエストに対して、AIを使い効率的な車両・ルートを実タイムに算出。
- 利用者がスマートフォンのアプリや電話から行った予約をもとにAIが車両配車を行うことで、利用者にとって効率的な移動を実現。

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(1) 事業内容

【対象エリア】

- ・富良野駅を中心に3kmエリア

【内容】

- ・エリア内であれば、アプリまたは電話で呼べば、10分程度で迎えにきて、目的地まで送り届ける。
- ・価格は実証期間は無料とするが、実証後は定額制での利用を見込む。
- ・顧客向けアプリはオンデマンドの配車だけでなく、他の交通との複合検索も可能とする。

【方法】

- ・運行はタクシー会社に委託
- ・予約とAIルート検索はシステム会社



6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

【オンデマンド交通利用者層仮説】

- 富良野市民の通院や買物の交通手段は、8～9割が自分で車を運転する人である。
- 路線バスなどの公共交通機関を利用する人は1.6～5.6%である。
- 一方、家族の送迎7.4～13.1%となっている。
- よって、本市の市街地に居住している65歳以上の高齢者4,800人のうち、通院や買物に対して家族に送迎してもらっている7～13%の方をオンデマンド交通の対象者(330人～620人)と仮定する。
- なお、オンデマンドの稼働率をあげるために、通学の学生や免許(または車)がない主婦も対象として検討する。

交通手段	通院		買物	
	夏期	冬期	夏期	冬期
自分で運転	82.5%	79.1%	88.0%	84.3%
家族の送迎	9.7%	13.1%	7.4%	10.3%
自転車	2.5%	0.5%	2.3%	0.4%
徒歩	1.6%	2.3%	1.7%	3.0%
JR	1.2%	1.2%	0.2%	0.1%
路線バス	4.5%	5.6%	1.6%	2.3%
タクシー	2.3%	2.5%	1.1%	1.4%
コミュニティカー	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%

H30.1 夏期冬期別の通院・買物のアンケート調査

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業



JR、路線バスなど複数の交通手段を表示

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(2) 推進体制：富良野地域公共交通活性化協議会(3/15設立)

	区分	団体名		区分	団体名
1	地方公共団体	富良野市	12	公共交通の利用者	富良野市連合町内会協議会
2	交通事業者	ふらのバス株式会社	13		富良野市連合町内会協議会
3		北海道旅客鉄道株式会社	14		富良野市立山部小学校
4		中央バス株式会社	15		富良野市立樹海小学校・ 富良野市立樹海中学校
5		東山地区コミュニティー運行委員会	16		富良野市立富良野西中学校
6		株式会社富良野タクシー	17		富良野市立富良野東中学校
7		有限会社中央ハイヤー	18		北海道富良野高等学校
8		私鉄総連北海道地方労働組合 ふらのバス支部	19		北海道富良野緑峰高等学校
9	道路管理者	国土交通省北海道開発局	20	学識経験者	地方独立行政法人北海道立 総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所
10		北海道上川総合振興局	21	会長が認める者	北海道運輸局旭川運輸支局
11	公安委員会	北海道旭川方面富良野警察署			

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(3)－1 資金計画

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
事業費(千円)	5,600	12,000	12,000	12,000
事業内容	・システム整備費 ・運行管理用機器導入費 ・実証実験運行費	・運行経費 ・システム使用料	・運行経費 ・システム使用料	・運行経費 ・システム使用料

(3)－2 収益確保策

	収益	運営費
1か月あたり	・定額5,000円 × 200名 = 1,000千円	・運行経費 700千円 ・システム使用料 300千円 ・合計 1,000千円

6. 地域IoT実装計画にて取り組む事業

(4)実施スケジュール

	2021年度				2022年度	2023年度	2024年度
	4～6月	7～10月	11月	12～3月			
実施内容の検討	→						
トライアルの準備・調整		→					
トライアルの実施			→				
トライアルの評価と本格導入に向けた検討				→			
本格導入					→		
郊外部から中心部への移動等の 実証実験の検討						→	
他地域で実証実験							→

7. 成果の評価指標及びPDCAの体制

7.1 KPI及び目標値の設定

解決策 (施策・事業)	アウトプット (結果)	アウトカム (成果・変化)
AIオンデマンド交通	実証実験の実施 (対象者50人以上)	実証実験後のアンケート調査において、AIオンデマンド交通が便利 だと思う人の割合

7.2 PDCAの体制

Plan(計画)	Do(実行)	Check(評価)	Action(改善)
実証実験の 計画	実証実験の 実行	利用者アンケート 調査による評価	改善策を検討し 本格導入へ

8. ひと・モノ・情報がつながるスマートシティ富良野に向けて



9. 最後に

北海道富良野市が誇る自然やイベントなど、1年間366日で楽しめるコトを動画で紹介しています。



Furano366
富良野で叶えたい
366のコト(動画)

ご清聴ありがとうございました。